



# 平成21年度全国学力・学習状況調査 大東市の概要

平成21年度全国学力・学習状況調査が4月21日に実施され、8月27日に文部科学省からその結果が公表されました。

調査は、小学校6年と中学校3年を対象に、国語及び算数・数学で、知識に関するA問題と活用に関するB問題による「学力調査」、児童生徒に学校生活や家庭生活の様子をたずねた「児童生徒質問紙」、各学校に取組み状況や教員の意識についてたずねた「学校質問紙」からなっています。

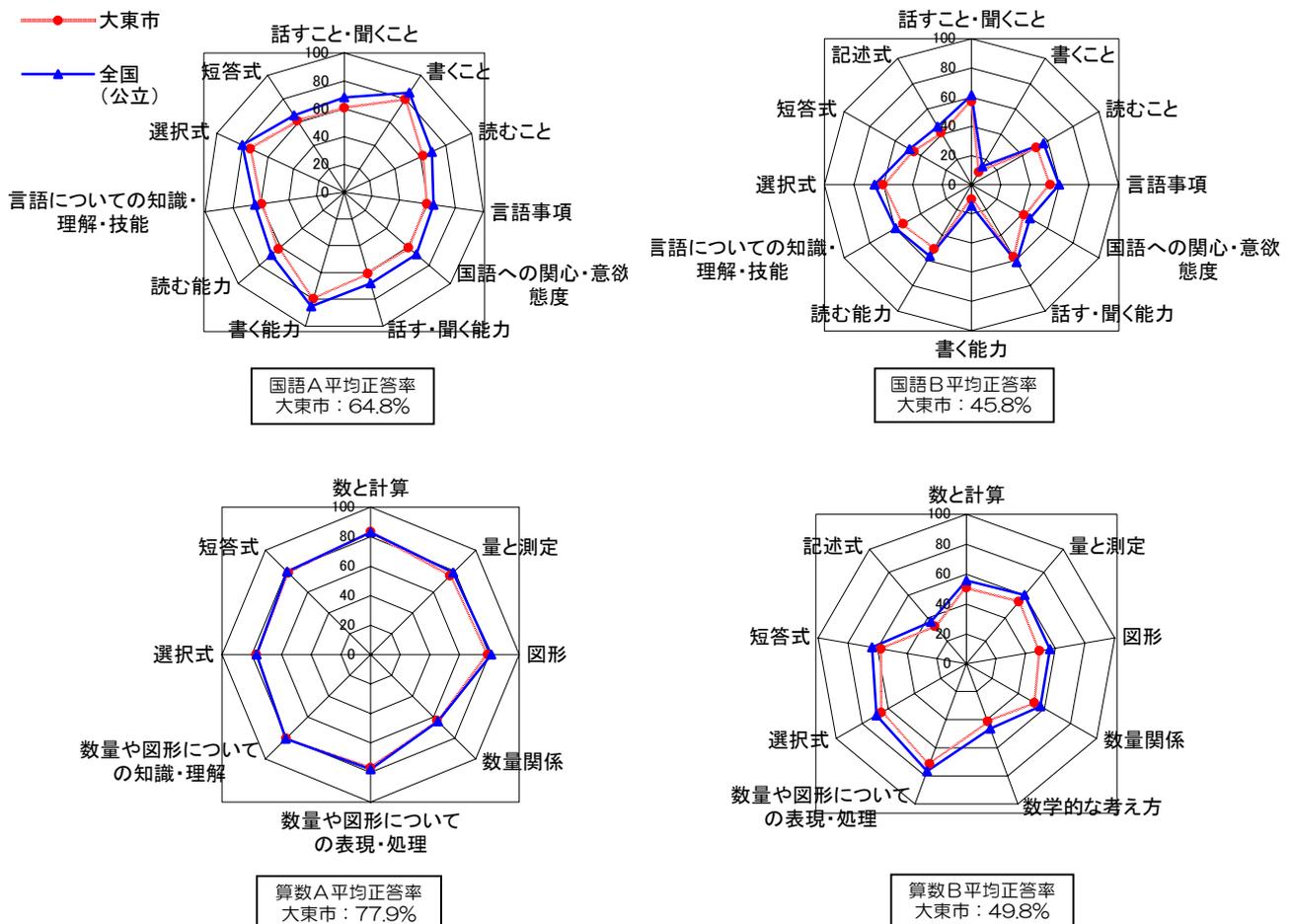
児童生徒の学力は国語と算数・数学のテストの点数だけで測れるものではありません。各学校では、学校行事やクラブ活動などで活躍したり、一生懸命に授業や家での学習に努力したり、何よりも友達と豊かな人間関係を築いている児童生徒の姿があり、これらを含めた総合的な力が本当の学力であると考えます。教育委員会としては、分析した調査結果を、学校での「授業改善の工夫」及び児童生徒の「学習意欲の向上・基本的生活習慣の定着」に役立てたいと考えています。

## 小学校 学力調査の結果より

○国語、算数ともに全国平均を下回り、依然厳しい状況ですが、年々その差は縮まりつつあります。特に算数Aではほぼ全国との差はなくなりました。

○解答例から正答を選ぶ選択式の問題はよくできていますが、自分の考えを文章にする記述式の問題の正答率が低く、**書く力に大きな課題**があります。

## 小学校 領域別正答率

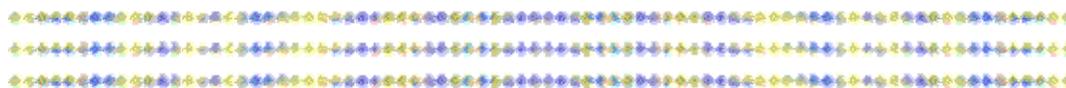
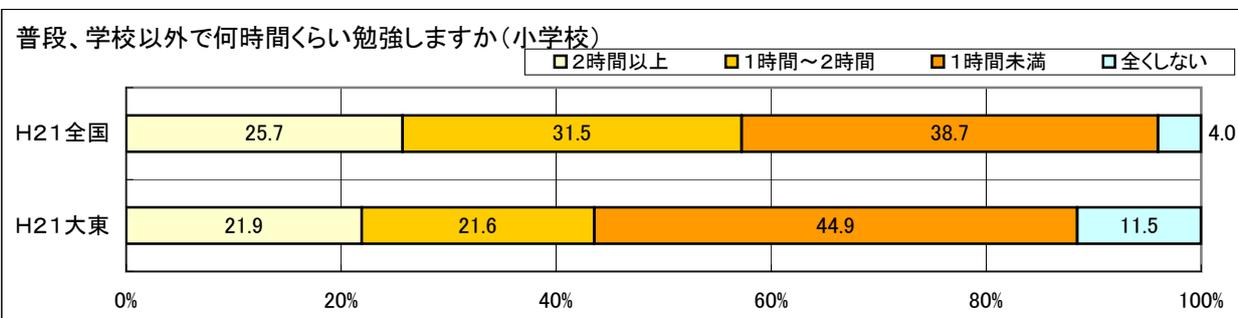
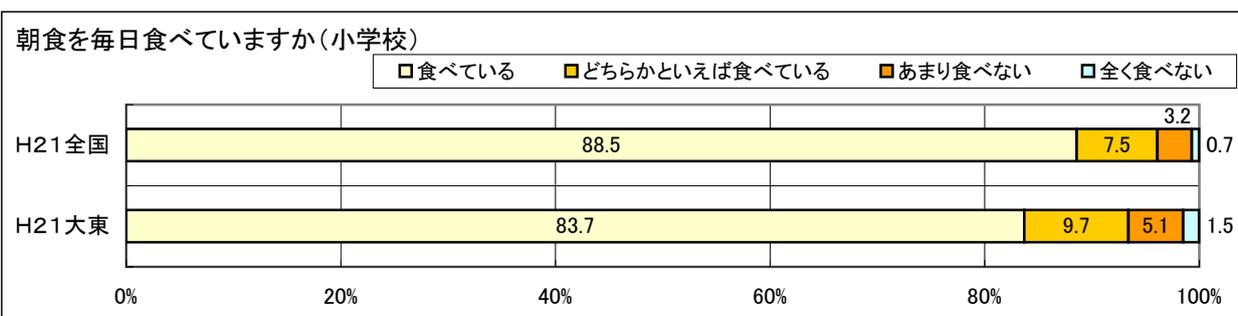
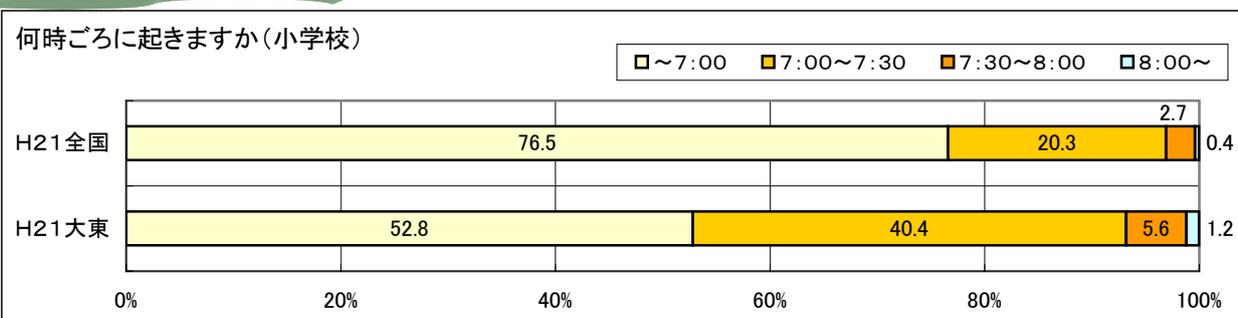


## 小学校 学習状況調査の結果より

○朝8時以降に起きる児童や朝食を毎日食べない児童は、7時までに起きる児童や毎日朝食を食べる児童より正答率が10～15ポイント程度低くなっています。

○普段、学校以外の勉強時間が1時間以下の児童は、2時間以上勉強する児童より正答率が10ポイント程度低くなっています。

## 小学校 児童質問紙より



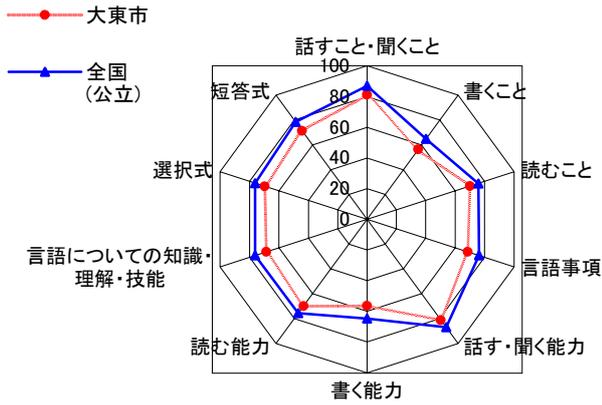
## 中学校 学力調査の結果より

○国語、数学ともに全国平均を下回り、大変厳しい結果となりました。しかし、年々少しずつ全国平均との差は縮まっています。

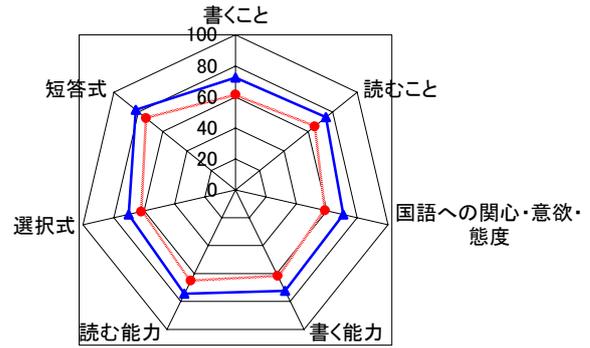
○答えの出し方や違うやり方を説明するなど、自分の考えをまとめて記述する力に大きな課題が見られます。

○解答に必要な情報を、与えられた資料の中から見つけ出す力に大きな課題が見られます。

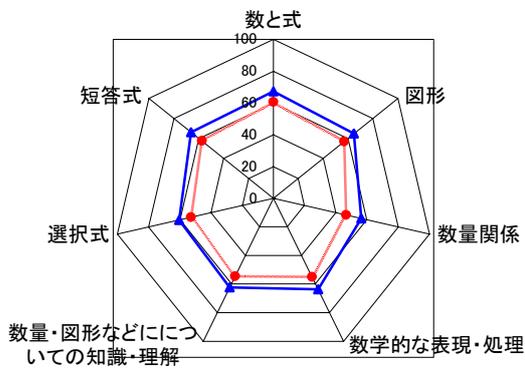
## 中学校 領域別正答率



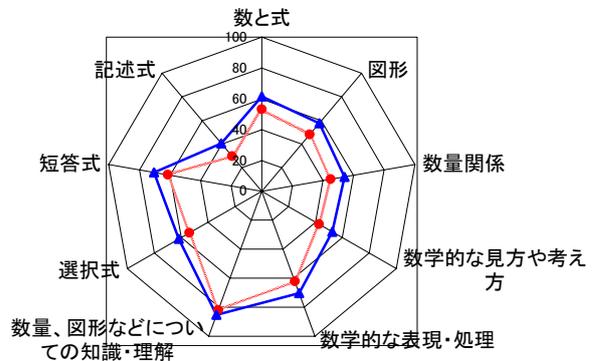
国語A平均正答率  
大東市：70.3%



国語B平均正答率  
大東市：65.0%



数学A平均正答率  
大東市：54.7%



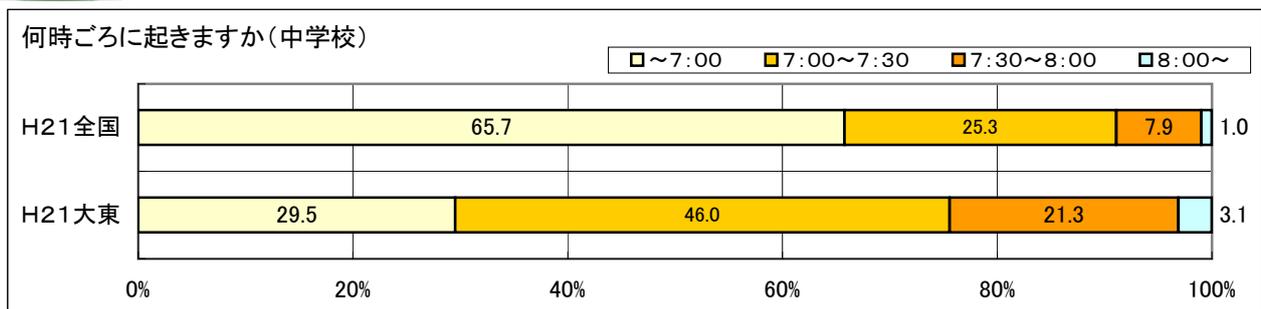
数学B平均正答率  
大東市：47.8%

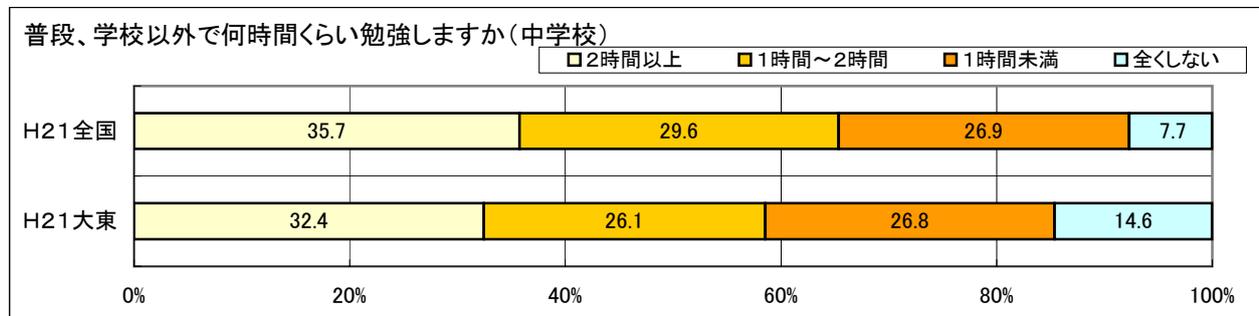
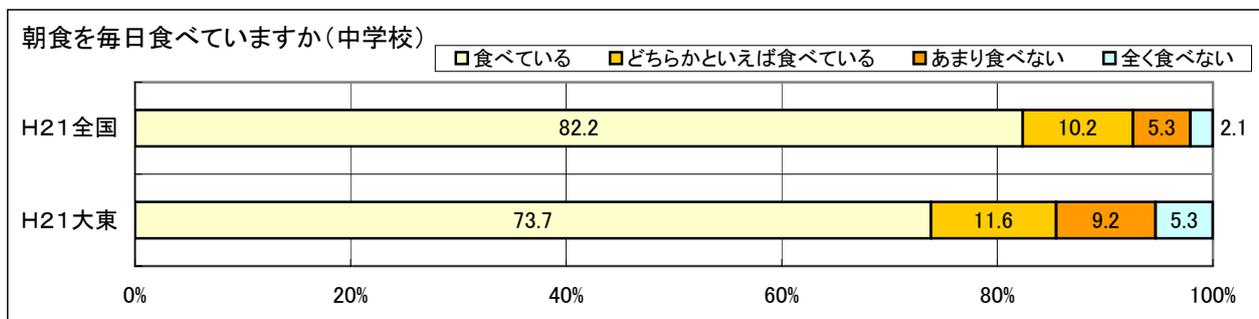
## 中学校 学習状況調査の結果より

○朝8時以降に起きる生徒や朝食を毎日食べない生徒は、7時までに起きる生徒や毎日朝食を食べる生徒より正答率が10～20ポイント程度低くなっています。

○普段、学校以外の勉強時間が1時間以下の生徒は、2時間以上勉強する生徒より正答率が15ポイント程度低くなっています。

## 中学校 生徒質問紙より





## 結果から見てきた課題の解決に向けて

これまでからも課題であった「基礎・基本の定着」は、各学校における「反復学習」「放課後・休日の補充学習」などの取組みにより少しずつその成果が現れており、今後も継続して指導を進めます。さらに、今後は**授業の内容を高めるための「授業改善」**に取組みの重点を置きます。

市教育委員会において、平成21年4月に策定した「**大東市教育ビジョン**」では、児童生徒同士や教員との信頼関係を基盤に、自立・協同する力を育み「自ら学ぶ力」と「学び合う力」を高める授業づくりの必要性を示しました。各学校では「**わかりやすい授業**」「**魅力ある授業**」「**児童生徒が自ら学び合う授業**」への改善のために研究を深め、**小学校1年から中学校3年まで系統的に学習活動が展開できるよう**取組んでいます。

一方、学力向上に深い関係がある「生活習慣」の改善は家庭・地域のご協力なしにはありえません。「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、家庭学習習慣の定着など、ご家庭でもより良い生活習慣への改善のためにご助言をお願いします。

【問い合わせ】 大東市教育委員会事務局 教育政策室 TEL 870-9643